



コロナ禍での黒字達成に
謝辞を述べる森野理事長

地域活性化を事業の柱に

京旅協、第40期総会で明記

京都府旅行業協同組合 00万円以上上回り黒字
(京旅協) 森野理事長 決算となった。

IIアルファトラベル、51 森野理事長は冒頭のあ
組合員)の第40期通常総 いますで「ゴールデンウ
会が5月31日、京都市上 イーク以降、旅行需要が
京区の京都プライトホ 徐々に回復してきました
テルで開かれた。コロナ が、我々中小旅行業者に
禍の逆風下にも関わら としてはまだまだ厳しい
ず、40期は行政や観光 状況です。それでも、組
連団体から地域活性化 合はなんとか黒字を達成
どの事業を受託したこと することができました。
が奏功、当初見込みを1 本当にありがとうござい

ました」と述べた。

また森野理事長は21年

のクーポン取扱高につい
て、コロナ前に比べて85
%マイナスが続いたもの
の、今年4月の発行高が
3千万円、5月は同6千
万円とコロナ前の50%ほ
どにまで回復していると
した。

組合の基幹事業の一つ
「十石舟めぐり事業」
は、桜の開花時期に限定
した運航だったものの、

3年ぶりに乗船客数1万・農林業活性化を目的とする。

人を突破。乗船効率につ
いては過去最高率を記録
し収益増につなげた。京
都市と連携し実施してい
る「じも旅京都キャンペ
ー」も旅京都キャンペ
ー、京北商工会から
都府や京都市などから受
託したグリーンツーリ
ズム事業などについて
も、コロナ禍における組
合事業として新たな基盤
づくりの方向性を見い出
したとした。

2022年度事業計画
についてはクーポン事
業、協定機関増強、十石
舟に続き「地域の観光業
化を視野に研究を始め
を期待していた。